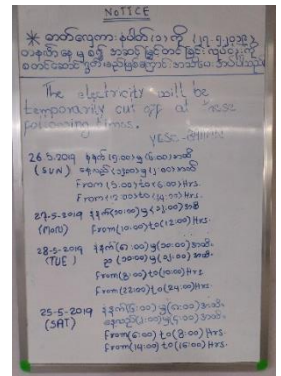


ケータイ安全教室

みなさんこんにちは。早いもので、気がつけばもうすぐ1学期も終わりでですね。こちらでも今週金曜日26日に1学期が終了し、30日間の夏休みに入ります。この1学期を振り返ると色々あるのですが、日常で1番印象に残っているのは3年間で最多の『計画停電』です。この2年間も計画停電自体はあったのですが期間は2週間ほど、2～3日に一度の頻度でした。しかし今年は5月中旬頃から7月上旬頃までという期間の長さ、そして1日に2回ずつ(1回につき2時間以上)という多さ！日中私と娘は学校に行っているので大丈夫でしたが、自宅にいた妻はとても大変だったと言っていました。『アジアのラストフロンティア』と言われ、諸国の進出が激しいミャンマー。しかしインフラの整備に関してはこの3年間住んでいて『よくなったなあ〜』と感じる部分はまだまだ足りないです。この部分の解消がミャンマーの発展に間違いなく寄与すると分かってはいるのですが…なかなか難しい部分ですね。



そんな『インフラ』にかかわる話ですが、この3年間で一番変わった分野は『通信』です。私がミャンマーに来た当時、民主化により通信関係の独占が解除。みんなスマホを購入し、インターネットを楽しみ始めた頃でした。当時は機種・メーカーはそれなりにあったのですが、価格が高額でした。しかし今は種類もより多様になり、ハイスペックな機種も手ごろな値段で買うことができます。そんな中今問題となっているものの1つが『情報モラル』だと思います。例えば、交通事故があっけがをした人がいた時に、その現場や人を撮影してそのままネットに上げてしまう。そんな事例がミャンマー国内ではよく見受けられます。スマホの普及に合わせて、そういう指導も絶対に必要なことだと思います。

実は、日本人学校の児童・生徒のスマホ普及率は日本に比べて格段に高いです。というのも、交通インフラも整っていないので、時間の節約のため学校帰りにそのまま習い事に行く子も多く、迎えを呼ぶためだったり、そもそも日本ではないので安否確認のために持たせているという家庭も多いです。そういう状況なので、学校としても日頃から情報モラルの指導をしっかりと行う必要があります。その一環として、先日KDDIの講師をお迎えして『スマホ・ケータイ安全教室』を開催しました。小学部は5校時、中学部は6校時と時間を分けての実施です。内容はスマホ・ケータイのルールや注意しなければならないこと、SNSを介したいじめの問題、動画投稿によるトラブル、そしてネット・ゲーム依存というものです。講師の方も、月に何度も日本全国の学校を飛び回ってこの講座を実施している方だったので、流れるように説明が進みます。子ども達に問題提起する動画を流し(KDDIで作成していて毎年アップデートされていくとのこと)、何が問題だったかを子ども達に考えさせ、それをどんどん質問しながら全体共有していく。子どもたちが話に真剣に耳を傾けているのがよくわかりました。

ヤンゴン日本人学校では、色々なジャンルで外部講師を招いての授業が多いです。特にここ1～2年は多数の企業や団体の方に協力をいただいています。みなさん忙しい中を『子ども達のために』という想いで快く引き受けていただき、本当にありがたいです。学校外の方と連携しながら子ども達を育てていく。そういう視点を十勝・帯広に持ち帰りたいと思っています。

それではまた来月、報告を送りたいと思います。

